

第3回 交通系 IC カードの普及・利便性拡大に向けた検討会

議 事 概 要

日時：平成27年6月3日（水） 15：30～18：30

場所：中央合同庁舎3号館4F 総合政策局局議室

【委員からの主なコメント】

- 地域での IC カードの活用などにより、IC カードが自家用車から公共交通を利用するきっかけとなると良い。
- 乗客の利便性向上はもちろんであるが、導入するのは事業者であり、事業者がメリットを実感できないと導入が進まない。
- 地方では限られた経営資源をどこに投入するかがポイントであり、効率的に路線再編等を行うために、IC カード等から得られた OD データの活用は大変有益である。
- 未導入地域の地方圏において、IC カードの導入は事業者の基礎体力からしても大きな金額であり、それを超えるメリットや導入しやすい支援制度があるかがポイント。効果的な公的補助のあり方について検討の余地がある。
- 片利用を導入した事業者の事例でも相応のコストがかかっており、普及させていくにはコストを低減する工夫が必要である。

次回は、これまでの議論をもとに、論点整理を行い議論することとした。

以 上